

術中迅速細胞診検査		P000004		
		担当部署		
迅速細胞診		病理		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		該当なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示②→病理細胞検査→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		1) 凝固している。		
検査受付時間		8 : 45～17 : 00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		手術、及び内視鏡、穿刺等の侵襲的検体採取では様々な準備が必要となるため、各々の担当医師、担当看護師等の指示に従う。		
検体採取の特別なタイミング		手術中		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	その他材料液 状検体	滅菌済みコニカル管 (栄研化学株式会社)	胸水、腹水、心嚢掖の場合は添加剤 としてアングロットが必要	該当なし
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1) オーダーラベルがない 2) 容器内の液がない		
保管検体の保存期間		1) スライドガラス ; 半永久 2) 液状検体 ; 当日中 * 保管検体から再検査をオーダーする場合は要連絡		

検査結果・報告						
検査室の所在地		病院棟 3 階 病理診断科				
測定時間		20～40 分				
生物学的基準範囲		該当なし				
臨床判断値		該当なし				
基準値					単位	該当なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
パニック値	高値	該当なし				
	低値	該当なし				
生理的変動要因		該当なし				
臨床的意義		<p>術中迅速細胞診</p> <p>術中迅速細胞診は通常業務に比べ標本作製やスクリーニング（さらには診断）にかける時間を極力短くしなければならない。術式に直接影響することもあり、臨床への情報的価値はきわめて大きい。胃癌取り扱い規約には腹腔（洗浄）細胞診についての記載があり、進行度（stage）を決定する因子の 1 つにもなっている。すなわち細胞診で癌細胞が陽性なら、ほかのいかなる因子が陰性であっても stageIV となる。</p> <p>臨床検査法提要改訂第 34 版：1388,2015.</p>				